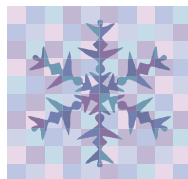


# 教育センターだより

## 1月



平成24年 1月15日  
砺波市教育センター 275号  
〒932-0393 砺波市庄川町青島401 Tel. 82-5970  
E-mail tonami-ec@tym.ed.jp FAX 82-5971  
URL <http://www.tym.ed.jp/c16/>

### 不登校・いじめのない学校づくりをめざして

教育長 館 俊博

学校で、不登校やいじめの問題が現れるようになってから何年が経ったでしょうか。不登校やいじめがあってもほしくないという願い、不登校やいじめの防止に努力しながらもゼロにはならない状況を見つめているうちに、不登校やいじめがあるのは、今日のような社会や家庭の環境では、「しかたがないのかな」という思いが次第に醸成されてきたように思われます。このような思いは、必然的に、防止よりも不登校やいじめが発生した後の対応へと学校は意識を向けざるをえないのではないのでしょうか。

学校は、児童生徒が登校してくれて初めて教育活動を展開できるのです。学校が児童生徒にとっての居場所にならなければならない筈です。どんなに家庭訪問し学習指導を支援したり、毅然として「いじめはいけないこと」の指導を継続したりしても、一人ひとりの児童生徒が仲間と共に生活することができる学級という居場所が確保されなければ絵に描いた餅になってしまいます。本来学校がもっている「学び合い」や「望ましい集団活動」に参加させることができないとすれば、このことは、学校がもつ本来的な機能を発揮できないことにつながります。

本年度の当初に、校長会で「不登校やいじめのない学校づくり」について研究・検討してい

ただくよう依頼しました。これは、今一度原点に返り、不登校やいじめを生まない学校について考えてほしいと思ったからです。不登校やいじめのない学校を実現することは一朝一夕にはできないことであり、また、先生方だけでなく児童生徒、そしてPTAや保護者の協力がなければ実現しないと考えられます。

学校が、不登校やいじめがあるのは仕方がないという意識に停滞するよりは、不登校やいじめを生まない学校をみんなで作っていかうという意識を常に持ちながら学校経営や教育活動を展開していくことの方が、学校は活性化していくのではないのでしょうか。例えば、授業においては、わかることだけを大切にしている、わからないことの裏に隠されている重要な意味に気付けないことがあります。今こそ、不登校やいじめについても本質的な面から考え、取り組むことが求められているのではないのでしょうか。

不登校やいじめのない学校づくりへと一歩踏み出すことが学校経営のあり方を見直し、児童生徒と先生の信頼感、学校と保護者・地域との一体感を醸成することにつながると信じていま



## 砺波市教育大会

- とき ばしょ 1月21日(土) 13時30分より 砺波市文化会館 大ホール
- 教育委員会表彰
- 実践発表 「広域スポーツ少年団『ダイヤモンドキッズ』の取り組みについて」  
発表者 砺波ソフトボール少年団ダイヤモンドキッズ 副会長 石黒信雄氏  
「小学校の外国語活動～ 砺波市8小学校の取り組み～」  
発表者 砺波市小学校教務主任会
- 記念講演 演題 「微生物でつくる、環境にやさしいプラスチック」  
講師 東京工業大学 大学院生命理工学研究科 准教授 福居俊昭先生

# 実践記録・教育論文 審査会(1月11日)

1月11日、教育論文・実践記録の審査会が行われました。今年度は幼稚園・保育所の部4点、小学校の部11点、中学校の部12点の応募がありました。

最前線で子どもにかかわっていらっしゃる先生方が自らの実践をまとめることで、改善を図ろうとしておられる姿に頭の下がる思いです。

このように教育に対して熱い思いを抱いている先生方に砺波市の教育が支えられていると思っています。

応募された先生方の玉稿はいずれも「子どもと切磋琢磨している先生方の姿」「子どもの動きから指導の在り方を謙虚に見つめようとする姿」「指導の在り方をより科学的に論拠付けようとする姿」等々、子どもの成長を願う教師の思いがひしひしと伝わってきました。

応募された先生方の情熱溢れる教育実践を砺波市全体の先生方で共有し、少しでもこのような熱き思いが広がっていくことを願い、研究物を回覧する予定です。



最近、新聞等で話題になった本、研修会で出会った本を購入しました。是非、ご一読ください。

## 研修図書のご案内



駅構内での紫煙、タバコのポイ捨て、自転車盗難、万引、ガラス破損等々。生徒指導課題への対応に常に追われ、地域から「学校を潰せ」とまで言われた教育困難校・姉崎高校。

校長として赴任した著者が、教職員と共に様々な改革を実行し、3年間で学校を蘇らせた改革の軌跡です。

教育センターホームページに「冬のおすすめ作品」をアップしています。ご覧ください。

## 概数でみる児童・生徒数

先日(1月8日)平成23年度成人式が行われました。ところで、成人された方は砺波市全体で何人だったかわかるでしょうか?とっさに聞かれると皆目検討がつかないかもしれません、私は、一学年約500名というように覚えています。今年、砺波市では493名が成人を迎えました。また、今年度の砺波市の小学校の児童数は3047名、中学校の生徒数は1464名でした。

ちなみに富山県全体の一学年の数は約1万人と覚えています。しかし、近年は児童数減少で1万人に満たない学年が多いのですが・・・。

皆さんはどのように把握されていますか。

## 平成23砺波市児童生徒数(平成23年4月1日現在)

小1年生	505名	小6年生	537名
小2年生	476名	中1年生	442名
小3年生	494名	中2年生	523名
小4年生	527名	中3年生	499名
小5年生	508名		

## 1月 行事予定

- 17日(火) ひよどりサポート会議⑧  
体力づくり兼任研修員研修会
- 21日(土) 砺波市教育大会
- 24日(火) 適応指導教室担当者研修会③  
学力向上研修会
- 25日(水) 定例教育委員会

## 2月 行事予定

- 1日(水) 地区センター幹事会
- 10日(金) 地区センター理事幹事合同研修会
- 14日(火) ひよどりサポート会議⑨
- 15日(水) 教育課題懇話会③
- 16日(木) 小中高校生徒指導連絡協議会③
- 17日(金) センター協議会常任理事会
- 22日(水) 教育大会企画運営委員会②
- 24日(金) 市教セ企画運営委員会②

## <今月の人気DVD・コーナー>

